

凍結抑制効果を有する表面処理工法

フリーズオフコート

FREEZE OFF COAT



凍結防止剤の散布無しでも効果を発揮する、局所的な凍結抑制対策です。



本店 〒141-8665 東京都品川区大崎 1-11-3 TEL:03-5487-0011

[HP] <https://ssl.maedaroad.co.jp/> 事業所一覧▶



予期せぬ凍結に、 “ピンポイント”対策

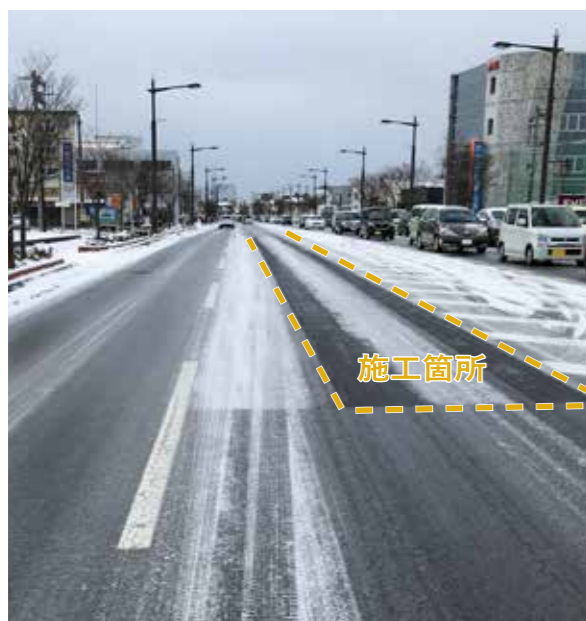
フリーズオフコートとは

既設・新設問わず、表層の直上に凍結抑制材と樹脂モルタルの層を構築した表面処理タイプの凍結抑制舗装です。

塩化カルシウム等の凍結防止剤を散布しなくても、モルタル層より染み出る非塩化物系凍結抑制材と車両の通行により、凍結抑制効果を発揮します。アスファルト舗装とコンクリート舗装の両方に適用可能で、2シーズンにわたって効果が持続します*。2シーズン目以降は、重ねて表面処理を行うことで、長期的な効果を維持する事ができます。

※交通量・降雪等により変化

施工事例



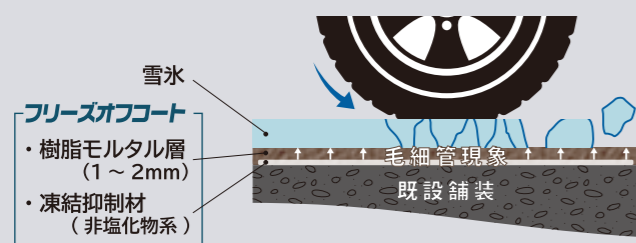
(2018年施工：新潟市)



(2023年施工：宮城県利府町)

※  タイヤ走行により氷膜が除去され、安全な道路を提供できます。

◆ 氷をはがす仕組み



氷着を抑制し、凍結の除去を促進

凍結抑制材のしみ出しによる氷点降下作用で氷着を抑制。タイヤ走行の衝撃により、圧雪や氷膜が除去されやすくなります。

 **Point** 気温が-5～0℃の時に最も凍結抑制効果が表れやすい。

特長

Point 01 効率的な凍結抑制対策
小型機械を使用し、危険箇所に対して必要な部分のみ局所的な凍結抑制対策が可能です。

Point 02 低コスト工法
既設舗装の撤去や打ち換えが必要なく、一般的な舗装よりも安価に施工可能です。

Point 03 道路附属物への塩害抑制
金属腐食を引き起こさない非塩化物系の材料を使用するため、環境負荷が小さく、ガードレールや標識の塩害を防ぎます。

施工方法

(施工可能条件：気温 5℃～30℃)

準備から完了までおおよそ6時間で施工可能（機械施工：500m²の場合）

STEP1
凍結抑制水溶液の散布



STEP2
モルタルの混合



STEP3
モルタルフィニッシャーによる塗布
(養生時間：約90分 ※気温20℃の場合)



施工完了



(施工例：車線全体)



(施工例：タイヤ通行部のみ)

推奨する適用箇所

 **車両の減速、停止が要求される箇所**
カーブ、坂道、交差点付近

 **路面状況の変化が著しい箇所**
トンネルの出入り口付近、消融雪施設の背後部

 **特に凍結しやすい箇所**
橋りょう部、建物や高架などの日陰


紹介動画は
こちらから

